

# 有限会社 アナビス

## 企画・デザインから制作までを トータルサポート

デザインを通じて北海道の力になることを目指し、  
各種グラフィックデザインや広告、商品開発、着ぐるみの企画制作など幅広く手がける。

設立 昭和53年11月  
従業員数 4名  
代表者 篠原 宏平



札幌市東区苗穂町3丁目2-31

TEL 011-751-1770  
FAX 011-751-1771  
<http://www.onyx.dti.ne.jp/anavis/index.html>



製作統括責任者  
澁谷 聡子

## 人に優しい着ぐるみを

着ぐるみは一体一体デザインが異なるオーダーメイド製品です。様々な課題に直面しますが都度ベストを尽くしています。デザイン性を高めお客様の希望に応えるだけでなく、着用者が快適に着用できるよう改良を続けたいです。

小型の  
送風ファンユニット



## PWMコントロールを利用した、 演者が快適な送風式着ぐるみの開発

### 着用者のため送風式着ぐるみの更なる改良を

各自治体を中心として各種PR・ad媒体のデザインを手がける有限会社アナビス。印刷物や施設展示等のグラフィックデザイン、模型・キャラクター・着ぐるみ等3D造形物のデザイン及び制作を行う。

2015年には、現在全国的に主流になりつつある「送風式着ぐるみ」の受注体制を整備。送風式着ぐるみとは、送風ファンとバッテリーで外気を着ぐるみ内部に送風してふくらませるタイプの着ぐるみだ。コンパクトに折り畳める点、着ぐるみ内部の空間が広く着用者への負担が少ない点などから需要が高い。

しかし制作を重ねる中で、操作ミスによる故障や細かなデザインが再現しにくいなど、送風式着ぐるみ特有の課題が見えてきた。そこで同社は、着用者がより安全で快適に着ぐるみを着用できるようPWMコントロールという送風ファンの回転速度を変えられる電力制御方式を採用し、着ぐるみの形にあわせて風量調整ができる新たな送風式着ぐるみの開発に取り組んだ。

### メッセージをわかりやすく前向きに伝える

PWMコントロールシステムは、北海道立総合研究機構の工業試験場の協力のもと機器の調整を行った。重大な事故を防ぐため安全対策には細心の注意を払った。

同システムの導入により風量が従来の約1.5倍に増し、着ぐるみ全体を持ち上げる力が強まり形状の安定性が増した。胴体の沈み込みがなくなり重量負担が減ったことで、操作性も向上した。加えて、従来はビニール素材にメッシュ生地で作られていた着ぐるみの視界部分を、プラスチック球面のスモーク塗装に変更。着用者の視界がクリアになり、より安全で快適な着用が可能となった。

想いがこめられた着ぐるみは、自治体や企業からのメッセージをわかりやすく前向きに伝えてくれる。澁谷さんは「PWM仕様は今後のスタンダードにしていきたい。バルーンタイプはディテールを表現しにくいという難点もある。バルーンとウレタンのハイブリッド型を開発し、さらに良質な着ぐるみを制作したい」と目を輝かせた。



着ぐるみ内部からの視界



同社手がけた着ぐるみの一部